

# 平成28年度環境ホルモン実態調査結果

## ①河川水質

単位:  $\mu\text{g/L}$

物質名	全国濃度範囲	定量 下限値	錦川 E-C-5	厚東川 U-C-2	阿武川 B-C-1
ベンゾ[a]ピレン	ND ~ 0.07	0.01	ND	ND	ND

- 注) 1. 調査期間:平成28年9月7日～平成28年11月10日  
 2.  $\mu\text{g}$ (マイクログラム)=100万分の1グラム  
 3. 全国濃度範囲は、環境省が実施した環境ホルモン環境実態調査(平成10～15年度)の結果である。  
 4. 河川名の下の記事号は、公共用水域の地点名である。  
 5. NDとは検出下限値未満であったことを表す。

## ②河川底質

単位:  $\mu\text{g/kg}\cdot\text{dry}$

物質名	全国濃度範囲	定量 下限値	錦川 E-C-5	厚東川 U-C-2	阿武川 B-C-1
ベンゾ[a]ピレン	ND ~ 3,800	1	ND	8	2

- 注) 1. 調査期間:平成28年9月7日～平成28年11月10日  
 2.  $\mu\text{g}$ (マイクログラム)=100万分の1グラム、 $\text{kg}\cdot\text{dry}$ は乾燥重量キログラム  
 3. 全国濃度範囲は、環境省が実施した環境ホルモン環境実態調査(平成10～15年度)の結果である。  
 4. 河川名の下の記事号は、公共用水域の地点名である。  
 5. NDとは検出下限値未満であったことを表す。

## ③湖沼水質

単位:  $\mu\text{g/L}$

物質名	全国濃度範囲	定量 下限値	小野湖 O-C-1	阿武湖 A-C-1
ベンゾ[a]ピレン	ND ~ 0.07	0.01	ND	ND

- 注) 1. 調査期間:平成28年10月27日～平成28年11月10日  
 2.  $\mu\text{g}$ (マイクログラム)=100万分の1グラム  
 3. 全国濃度範囲は、環境省が実施した環境ホルモン環境実態調査(平成10～15年度)の結果である。  
 4. 湖沼名の下の記事号は、公共用水域の地点名である。  
 5. NDとは検出下限値未満であったことを表す。

## ④湖沼底質

単位:  $\mu\text{g/kg}\cdot\text{dry}$

物質名	全国濃度範囲	定量 下限値	小野湖 O-C-1	阿武湖 A-C-1
ベンゾ[a]ピレン	ND ~ 3,800	1	17	14

- 注) 1. 調査期間:平成28年10月27日～平成28年11月10日  
 2.  $\mu\text{g}$ (マイクログラム)=100万分の1グラム、 $\text{kg}\cdot\text{dry}$ は乾燥重量キログラム  
 3. 全国濃度範囲は、環境省が実施した環境ホルモン環境実態調査(平成10～15年度)の結果である。  
 4. 湖沼名の下の記事号は、公共用水域の地点名である。  
 5. NDとは検出下限値未満であったことを表す。

## ⑤海域水質

単位:  $\mu\text{g/L}$

物質名	全国濃度範囲	定量 下限値	岩国・大竹地先 E-D-107	徳山湾 T-D-2	徳山湾 T-D-4
トリブチルスズ	ND ~ 0.09	0.002	ND	ND	ND
トリフェニルスズ	ND ~ 0.01	0.001	ND	ND	ND
ベンゾ[a]ピレン	ND ~ 0.07	0.01	ND	ND	ND
4-ニトロトルエン	ND ~ 0.63	0.01	ND	ND	ND

- 注) 1. 調査期間:平成28年8月5日～平成28年8月19日  
 2.  $\mu\text{g}$ (マイクログラム)=100万分の1グラム  
 3. 全国濃度範囲は、環境省が実施した環境ホルモン環境実態調査(平成10～15年度)の結果である。  
 4. 海域名の下の記事号は、公共用水域の地点名である。  
 5. NDとは検出下限値未満であったことを表す。

## ⑥海域底質

単位:  $\mu\text{g/kg}\cdot\text{dry}$

物質名	全国濃度範囲	定量 下限値	岩国・大竹地先 E-D-107	徳山湾 T-D-2	徳山湾 T-D-4
トリブチルスズ	ND ~ 300	0.1	0.5	0.3	0.8
トリフェニルスズ	ND ~ 18	0.1	ND	ND	ND
ベンゾ[a]ピレン	ND ~ 3,800	1	34	49	52

- 注) 1. 調査期間:平成28年8月5日～平成28年8月19日  
 2.  $\mu\text{g}$ (マイクログラム)=100万分の1グラム、 $\text{kg}\cdot\text{dry}$ は乾燥重量キログラム  
 3. 全国濃度範囲は、環境省が実施した環境ホルモン環境実態調査(平成10～15年度)の結果である。  
 4. 海域名の下の記事号は、公共用水域の地点名である。  
 5. NDとは検出下限値未満であったことを表す。